

住宅の耐震化支援制度について

1 福島県沖の地震について

○地震の状況

- ・ 発生時刻 令和4年3月16日 23時36分頃
- ・ マグニチュード 7.4
- ・ 最大震度 震度6強（宮城県登米市、蔵王町、
福島県相馬市、南相馬市、国見町）
- ・ 震源地 福島県沖（右図）



○宮城県・福島県内の主な被害状況

※人的・物的被害については、消防庁災害対策本部21日10時00分発表分

- ・ 人的被害 : 宮城県：死者2人、負傷者95人、福島県：死者1人、負傷者98人
- ・ 物的被害（住家被害） : （半壊） 宮城県 2棟、福島県なし
（一部破損）宮城県 120棟、福島県 108棟
- ・ 交通機関への影響 : 東北新幹線（現在も那須塩原～盛岡間が不通）
- ・ 断水戸数 : 宮城県、福島県あわせて約34,600戸（3月17日20時現在）

3 住宅の耐震化支援制度について

全国トップレベルの支援制度を用意

(1) 住宅の耐震化

●耐震診断 (H16～)

- ①平成12年5月以前に建築された“木造住宅” (H16～) ⇒ **自己負担なし**
- ②昭和56年5月以前に建築された“非木造住宅” (H26～) ⇒ 診断費の2/3、最大8万9千円を補助

●補強設計・改修 ▶設計と工事を一体的に支援 (最大116万6千円を補助) (H30～)

一定の工事費まで**自己負担なし!**

●地震津波対策型移転への支援 (R3～)

津波避難困難地域における耐震性を有しない住宅を除去し、地域外へ住み替え

除去 ⇒ 最大101.9万円補助 除去・建替 ⇒ 最大168.5万円補助

(2) 耐震ベッド・耐震シェルター (H27～)

≫設置費用の2/3、最大26万6千円を補助

※高齢者、障害のある人の居住住宅を優先、耐震性が不足する木造住宅への設置



(3) 家具固定 (H20～)・ブロック塀安全対策 (H22～)

≫住宅における家具固定、
通学路沿道等のブロック塀改修を支援

